

ちの

市議会だより

令和3年9月定例会

第39号

2021.12.1



～新型コロナウイルスワクチン接種～
健康管理センターと公立諏訪東京理科大学での集団接種会場の様子



もくじ

- ▶ 議会活性化委員会 2
- ▶ 常任委員会活動報告 3
- ▶ 委員会の審査、本会議討論 4~6
- ▶ 議決結果・賛否一覧 7
- ▶ 一般質問通告一覧 8~9
- ▶ 一部事務組合勉強会 10~12
- ▶ 編集後記 12



～ 議会改革を進めています～

市民に開かれた議会へ

■ 議会活性化委員会 ■

議会改革の取組は、これまで前期 4 年の前任議員による「議員定数と報酬」「議会基本条例」の検討を通じて、条例設置の方向性が確認されております。引き続き平成 31 年からの当期では、議会運営委員会による議長諮問の検討や、市民アンケートの実施による市民の声を反映した検討が加えられてきました。令和 3 年 3 月に議会活性化委員会設置と検討部会の組織素案が承認されました。6 月の全員協議会において以下の組織編成と役員が選出されました。

《議会活性化委員会の位置づけ》

議会活性化委員会は、任意の委員会協議が尽くされた段階で議会基本条例設置の特別委員会へ移行し、委員会案を決定し、条例化します。また全員協議会での合意に基づいて、申し合わせに加えるものもあります。

《議会基本条例の前提・理念の確認》

「基本的理念や考え方」については部会及び活性化委員会での検討を予定していましたが、議会運営委員会で協議することとなりました。具体的な確認項目を挙げると次のようなものになります。

●検討項目 ①議員間討議 ②情報公開、広報の実践方法 ③行政側への反問権の付与 ④請願・陳情の受付及び審査方法 ⑤市民参加、市民の声を聴く手法 ⑥会派 ⑦議長の中立公平性と委員会人事 ⑧議会推薦監査委員 ⑨政務活動費 ⑩政治倫理 ⑪公務とは ⑫構造的・普遍的条例条項 ⑬任期初期の確認事項 ⑭検証と見直し ⑮他の条例等との関係 ⑯条例、申し合わせの改正の条件

これらの事項は基本条例の項目に載せるというよりも、条例実践段階での手法を示すとともに、その前提になる考え方を議員全員で確認しておくこととなります。

《組織》

●議会活性化委員会 (18 名)

委員長 野沢明夫 副委員長 伊藤勝

委員 議員全員

●議員定数・報酬部会 (9 名)

部会長 望月克治 副部会長 伊藤勝

部会員：両角実晃、机博文、東城源、木村明美、小尾一郎、長田近夫、松山孝志

●議会基本条例部会 (9 名)

部会長 矢島正恒 副部会長 竹内巧

部会員：木村かほり、吉田基之、伊藤正博、伊藤正陽、伊藤玲子、野沢明夫、樋口敏之

●部会長会議：正副議長、正副委員長、部会長

《部会での検討事項》

●議員定数・報酬部会：議員定数と報酬についての検討協議をします。

定数は現状を調査し、将来に向けて活発で開かれた議会運営のための組織を考えます。

報酬は、市長設置の報酬審議会への議会の要望を取りまとめていく予定です。

●議会基本条例部会：議会基本条例設置を目指します。設置することは平成 31 年 3 月前期議員が決定しており、これを受けて具体的な条項を出して検討していきます。茅野市議会として、実践していきたい特色ある内容なども検討していきます。



議会基本条例部会で、条例を制定している諏訪市を視察。

常任委員会 9月までの活動 ～視察・研修～



そばの収穫風景

9月5日発生の
土石流災害現場を
視察した様子

《経済建設委員会》

経済建設委員会では、所管する水道・下水道・都市計画などの建設関係と観光・商工・農林業などの経済関係の調査研究を、今まで以上にしようと考えました。

その第一歩として8月24日に農林課職員と部課長の出席のもと、茅野市の農業の現状の聞き取りを行いました。農業者の減少や耕作地の減少が数値で明らかになり、また一段と集約化が進んでいる状況もわかりました。委員からも様々な意見が出されました。

また、災害のあった宮川高部地区の現状確認視察を9月10日に行いました。当委員会では今後も、コロナ禍で影響を受けている、商工や観光の実態調査を行うことやDMO（ちの観光まちづくり推進機構）との意見交換も予定してします。



《福祉教育委員会》

5月の改選で新メンバー6人での活動開始。

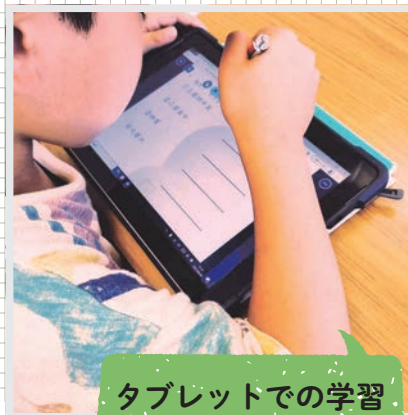
委員会の所管は「保健・医療・福祉」と「子育て・教育・文化」分野で、市民生活に直結する内容です。

委員会（協議会）では付託された案件の審査はもとより、地域にある課題を解決するために様々な組織や団体・個人と懇談・聞き取りを重ね解決の糸口を見いだしたいと考えています。

8月には民間の団体と懇談、学校に登校しない児童生徒への対応についてなど聞き取り・話し合いを行いました。

今後は地域福祉推進をどう進めているかなど市の担当と懇談・聞き取りを行い、また今年度全児童生徒に貸与されたタブレットの活用授業を参観し、関係者との懇談を実施、課題を解決できるよう取り組んでいきたいと考えています。

宮川小学校の運動会の練習風景



タブレットでの学習

令和3年9月議会のあらまし

茅野市議会 9月定例会は、8月25日(水)から9月22日(水)までの会期で開催しました。

会期中の9月5日夜の大雨により大規模な災害が発生し、会議を1週間休会とし、市当局は災害対応を行いました。災害対応の補正予算を至急に成立させるため、新たに補正予算2件が提案されました。補正予算や市道路線の廃止、人事案件など議案19件、諮問1件を審議し、いずれも原案どおり可決、承認、認定、同意しました。

議員提案による意見書案2件を審議し2件とも可決され、可決された意見書は国などに提出しました。各議案の一覧及び議決結果は、7ページをご覧ください。



②

3億4306万6千円を追加し、歳入歳出それぞれ295億7351万1千円とするもの。

主な補正内容

- 企画費で、DX化に向けた基本構想策定委託料など1333万8千円
- 地域創生推進事業費で、シティプロモーション実証実験委託料として1840万円
- 地域公共交通事業費で、通学・通勤バスの実証運行の延長・拡充に係る委託料などで1871万円
- 商店街活性化事業費で、消費の喚起や事業者の支援のために行われる「地域を元気にするキャンペーン事業」を支援するための補助金として215万円
- 観光誘客宣伝事業費で、文化庁の「ウイズコロナに対応した文化資源の高付加価値化促進事業」の採択が受けられたことや、宿泊施設等応援事業「ちの割」をさらに追加することにより、委託料と補助金で3967万9千円
- 観光振興支援事業費で、DMOが実施する観光・飲食業等デジタル化推進支援事業に対する補助金や、大規模廃屋施設の撤去による景観保全等の白樺湖地区再生事業への支援のための繰出金など、2億3480万円
- 交通安全対策事業費で、令和4年度上社御柱祭に向けた交通安全対策のための委託料など235万円
- 道路・河川維持修繕事業費で、交通安全対策としての補修工事に係る工事請負費600万円
- 生活道路整備事業費で、道路改良事業負担金の増、763万9千円



①

委員会における主な議案の審査

予算決算委員会

委員長 長田 近夫

議案第52号

令和3年度茅野市

一般会計補正予算(第8号)について

全会一致で

この議案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ10億5914万円を追加し、歳入歳出それぞれ292億3044万5千円とするもの。

主な補正内容

- 民生費で、豪雨災害により避難を余儀なくされた方の宿泊施設を借り上げる使用料や、避難所の毛布のクリーニングの手数料など594万円
- 衛生費で、災害によって発生した廃棄物の処理に関わる委託料等2040万円
- 消防費で、雨量計や定点カメラの設置といった防災情報整備の費用や、自然災害により半壊以上の被害を受けた世帯に対する被災者生活再建支援金としての補助金など1840万円
- 災害復旧費で、被害を受けた道路や橋梁、河川、農業施設、林道等の復旧に関わる委託料、使用料及び賃借料、工事請負費など、10億1440万円

議案第53号

令和3年度茅野市

一般会計補正予算(第9号)について

全会一致で

この議案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ

④

賛成討論

「加入者の減少、医療費の増加といった中、適切な運営ができていないと評価する。一般会計からの繰入れを増やすことは、国民健康保険加入者以外の市民の負担を増やすことになるので、慎重な検討が必要である。今回の決算は妥当だと評価し、認定には賛成。」

経済建設委員会

委員長 伊藤 勝

議案第 37 号

市道路線の廃止について (湖東新井地籍)

全会一致で



この議案は、道路法第 10 条第 3 項の規定により市道路線を廃止するもの。

問

「なぜこの時期での廃止なのか。」

答

「4 月から申請を受け付けてから確認業務を行い今に至った。」

問

「市道路線の廃止について今後もあり得るのか。」

答

「今後も申請があれば行っていく。」

本会議における討論

議案第 42 号

令和 2 年度茅野市 一般会計歳入歳出決算の認定について



反対討論 伊藤 勝

「会計年度任用職員の多くは望んでいないのに労働時間が短縮し、時給は増えたが月給は減額している。制度改正時には不利益が生じないとする国会の附帯決議に反する。また国保の減免対象者は年々増加しており支援として、国の負担増を求めることと、一般会計からのさらなる繰出しが必要なことは明白。そのほか財政の縮減の中、コンビニでの証明書の発行は費用対効果の面からいって維持費、管理費に相当な経費が出ている。以上のことから反対。」

③

議案第 42 号

令和 2 年度茅野市 一般会計歳入歳出決算の認定について



この議案は、令和 2 年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

令和 2 年度の歳入決算額は、325 億 5429 万 6295 円。

歳出決算額は、315 億 9064 万 4869 円で、歳入歳出差引残額は、9 億 6365 万 1426 円、翌年度へ繰り越すべき財源 8503 万 7 千円を差し引き、実質収支額は、8 億 7861 万 4426 円の黒字。

反対討論

「会計年度任用職員への待遇は、改善とは言えず、結果的に給与となる報酬が削減されている。また運営の厳しい国民健康保険への繰出しも少ない。マイナンバーカードを使った住民票等のコンビニ交付については、1 件当たり 4 千円を越す支出を続けている。費用対効果の面で、同意できず、認定には反対。」

賛成討論

「若者に選ばれるまちに向けての取組や、地域公共交通への取組、感染予防対策と並行して行われた『くらし・経済対策』への取組といった社会経済活動の確保に取り組んだことがうかがわれる。今後も民意を反映したより良い施策が講じられること、効率的で効果的な執行がなされることを期待して、認定に賛成。」

議案第 43 号

令和 2 年度茅野市国民健康保険 特別会計歳入歳出決算の認定について



この議案は、令和 2 年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

令和 2 年度の歳入決算額は、53 億 9368 万 9234 円。歳出決算額は 52 億 1173 万 7900 円で、歳入歳出差引残額は 1 億 8195 万 1334 円となり、同額が実質収支額。

反対討論

「国保加入者は年金世代が多い、個人負担を減らす方向に舵を切るべきであるが、一般会計からの繰入れが増えていない。繰入れが少ないのは、運営が困難になる原因ともなる。認定には反対。」

⑥

繰入れについては、国保以外の市民との不公平感があり一般会計を圧迫する恐れがある。今後も安定的、持続可能な運営がなされることに期待し賛成。」

議第 17 号

意見書案の提出について

「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める」(議員提案)



反対討論 東城 源

「茅野市の市議会議員であるため、茅野市の明確な公益性ということで判断をしたい。平和の礎(いしじ)には長野県出身者の名前も刻まれているが、茅野市出身者の可能性はあるが確認できないとなれば長野県議会が判断すべき案件だと考える。茅野市としての明確な公益性を見いだすことができなかったため、地方自治法第 99 条の当該普通地方公共団体の公益に関する事件には該当しないものと判断し、意見書の提出には反対。」

賛成討論 伊藤 勝

「この意見書は市の公益性に合致している。2019 年沖縄の県民の 70% を超える人が辺野古基地の埋立て反対だった。それが民意なのに、基地埋立てのために先の大戦で唯一の地上戦があった遺骨が眠る場所から土砂を採掘することは、死者への冒瀆、先の大戦の反省のかけらもない蛮行である。遠い異郷の地の出来事と思われがちだが、このことは決して他人事ではない。人としてあるまじき行為である。」

反対討論 小尾 一郎

「この意見書と市の公益性というものについて理解ができない。法律では、当該普通地方公共団体の公益に関することについて意見書を提出することができる」とあり、公益性のないものについては意見書を出すことができない。それが法の解釈であると思う。個人的な心情はわかるが、個人的な心情を市の公益という名のもとで、しかも議会の名前で表明させるということは、議員の権利の適切な行使とは言えない。よって、法令を遵守されていない意見書であるということで反対。」

<収容遺骨数の推移>

(単位:柱数)

28年度	29年度	30年度	令元年度	令2年度
30	7	18	56	57

厚生労働省 HP「沖縄における戦没者遺骨収集について」より

⑤

賛成討論 伊藤 正博

「新型コロナウイルス感染症への対応を最優先した一年であった。『くらし・経済対策』での様々な対応や取組、新地域公共交通の取組では AI オンデマンドの実証運行の実施が行われた。また防災情報システムの構築にも取り組んでいる。それぞれ実施した取組に対し、しっかりとした、かつ公平な検証がなされ、茅野市と市民のための民意が反映された持続可能なより良い施策が講じられることに期待して賛成。」

議案第 43 号

令和 2 年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について



反対討論 伊藤 正陽

「茅野市では国保加入者のうち 55.45% の人が、収入が少ないことで国保税を減免されている。協会けんぽや共済組合などは所得に応じ保険料が決まるが国保には他に資産割、平等割、均等割が加わる。医療は高度化が進み医療費は年々高額となり、このことが支出を押し上げている。高額化する国保税は構造的なもので解消するには国の負担割合を増やすことが必要だができていない。国保運営を円滑かつ増え続けている加入者負担を減らすためには、市の一般会計からの繰入れが必要。これできていないため認定には不同意。」

賛成討論 伊藤 正博

「国保加入者が、高齢者や低所得者の占める割合が高いという構造的な問題と、医療費も高額になっているため厳しい財政運営が続いている。こうした状況下において、被保険者の負担に考慮し、保険料の税率改正をすることなく、留保財源を確保しているなど適正な運営ができた」と評価する。国保税の一部を公費で負担する法定外

【国民医療費 10年ごとの推移】



厚生労働省 HP より

9月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧及び報告

付託委員会 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算
 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	付託委員会	議決結果	両角 実晃	木村 かほり	吉田 基之	竹内 巧	伊藤 正博	机 博文	東城 源	木村 明美	小尾 一郎	矢島 正恒	伊藤 勝	長田 近夫	伊藤 正陽	伊藤 玲子	野沢 明夫	望月 克治	松山 孝志
51	令和3年度茅野市一般会計補正予算(第7号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	茅野市等公平委員会委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	令和3年度茅野市一般会計補正予算(第8号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	市道路線の廃止について(米沢塩沢地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	市道路線の廃止について(泉野中道地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	市道路線の廃止について(湖東新井地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	令和3年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	令和2年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●
43	令和2年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●
44	令和2年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	令和2年度茅野市国民健康保険診療所特別会計決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	令和2年度茅野市水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	令和2年度茅野市下水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	令和2年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	令和2年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	令和2年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	令和3年度茅野市一般会計補正予算(第9号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	茅野市固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問 1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 6	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情		議場配布																	
議員提出議案 16	意見書案の提出について(コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	意見書案の提出について(沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める)		可決	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○
報告 8	専決処分の報告について																			
9	債権放棄の報告について																			
10	令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率について																			
11	株式会社ベルビアの経営状況について																			

議決日は、9月22日の議会最終日(但し、議案第51、38、39号と諮問第1号は8月25日の開会日に即決、議案第52号は9月13日に議決)

茅野市の課題を問う！

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

9月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
野沢明夫	1 お役所言葉の改善について	(1) 堅苦しい言葉や、回りくどい言い回しが多いのはなぜか (2) 専門用語が多く分りにくいが易しく言い換えられないか (3) カタカナ、略した英字があふれているが説明は十分か (4) 敬称に「さん」付けなどの表現を改められないか (5) 「～となります」「～となっております」等の丁寧語表現は正しいか (6) 改善の手引き作成はできないか
	2 包括連携協定について	(1) 包括連携協定とはどのようなものか (2) 官民双方に期待できることは何か (3) 締結のきっかけ、手順はどのようになされるか (4) 締結後の成果評価はどのようになされるか (5) 期間や見直しはあるか (6) 事業化に伴う業者選定に影響はあるか
矢島正恒	3 縄文遺産を活かした「まちづくり」について	(1) 縄文プロジェクトで推進している各種事業の取組の現状と今後の展開について (2) 尖石石器時代遺跡や国宝「土偶」、縄文史跡の更なる活用について
	4 通学路における交通安全の更なる推進について	(1) 小中学校における通学路の安全対策確保の取組について (2) 通学路における交通安全施設の整備について (3) 自分の身を守る交通安全教育・指導の推進について
吉田基之	5 持続可能な森林整備について	(1) 森林経営管理制度について (2) 森林所有者への意向調査の進捗状況について
	6 合併処理浄化槽（地下浸透方式）の安全性について	(1) 合併処理浄化槽（地下浸透方式）の安全管理方法について (2) 地下水への影響調査について
長田近夫	7 企業版ふるさと納税の活用について	(1) 企業版ふるさと納税制度について (2) 市の取組状況について (3) 企業申込の推進について
	8 高校生への消費者教育について	(1) 消費者教育を行うことについて (2) 市の現状について (3) 課題について
竹内巧	9 委託契約における発注額の厳格化と透明性の確保について	(1) 競争入札と随意契約の現状について (2) 発注額の厳格化に向けた取組について (3) 透明性の確保に向けた考え方について (4) 地元企業への発注に対する認識と対策について
	10 AI オンデマンド交通の実証運行で検証した予約システムについて	(1) 実証運行により確認された必須の機能は何か (2) 実証運行により確認された当市に馴染まない機能は何か (3) 機能と費用対効果に対する認識について (4) 競争原理が活かせる参入条件の設定について (5) 委託先の検討状況と業者選定のタイムスケジュールについて
伊藤玲子	11 茅野市の福祉政策推進における「茅野市社会福祉協議会」の役割について	(1) 茅野市社会福祉協議会の担う役割について (2) 会長職就任の想いについて (3) 市の福祉政策推進において、社会福祉協議会にしかできないこと、社会福祉協議会としてできることは何か (4) 茅野市社会福祉協議会への期待と更なる支援体制の考えは
木村明美	12 職員提案制度について	(1) 市長が考える職員提案制度について (2) 職員の市民に対するサービス向上に提案制度は有効的か (3) 目的と職員意識の乖離はないか
	13 中小企業向け新型コロナウイルス感染症対策の支援策について	(1) 事業者への分かり易い周知は出来ているのか (2) 茅野市中小企業者等応援金の延長について

	件名	要旨
木村明美	14 茅野市が契約する認知症高齢者等個人賠償責任保険について	(1) 事業の目的について (2) 認知症保険の内容について (3) 市としての関わりについて (4) 周知方法について
伊藤勝	15 会計年度任用職員の待遇について	(1) 会計年度任用職員制度導入時には丁寧な説明をするとの話であったが、1年経過後の状況はどうなっているか (2) 年次休暇の取得率は、正規職員、会計年度職員とでは、前年と比べてどうなっているのか (3) 導入時、所得が減ると試算された会計年度任用職員の収入は実際どうなのか、また時間外勤務の実態は (4) 会計年度任用職員に対して、待遇改善はあるのか
	16 鳥獣被害対策について	(1) 防護柵は振興ビジョン推進会議で検討すると言っているがその後の経過は (2) 埋設場所の検討はされているのか
伊藤正博	17 工場排水の流出について	(1) 現状について (2) 県との連携について (3) 今後について
両角実晃	18 生命（いのち）の安全教育について	(1) 「生命（いのち）の安全教育」の取組の現状について (2) 「生命（いのち）の安全教育」の取組の課題について (3) 「生命（いのち）の安全教育」の今後の対応について
伊藤正陽	19 降雨における防災対策について	(1) 茅野市内の累積雨量（連続雨量）と河川の増水との関係について (2) 茅野市のハザードマップから見てくる降雨による災害予測について (3) 河川の氾濫（越水・決壊）及び内水被害防止に向けて (4) 降雨による土砂崩落の予防について
机博文	20 人・農地プランの現状と今後の進め方について	(1) プランの具体的な進め方について (2) 「目標地図」策定による推進体制について (3) 集積・集約化に向けての取組と課題について (4) プラン推進のための今後の施策と持続可能な農業について
東城源	21 消防団の今後はどうなりますか	(1) 消防団総合計画（仮）とは (2) 消防団はどう変わっていくか (3) 消防団員の待遇について (4) 自主防災組織との連携について
木村かほり	22 ICT教育の取組と学校や保育園等でのコロナ対応について	(1) ICT教育の現状について (2) コロナ禍におけるICTの活用について (3) 学校や保育園等での生活について (4) 心のケアや学びの保障の取組について
	23 現行のまちづくりの取組をどうスーパーシティ構想へ活用するか	(1) 保健福祉サービスセンター等の活用について (2) 今後の展望について
望月克治	24 生活就労支援センターまいさぼ茅野市の今後の課題について	(1) 社会福祉協議会から、正規で2名の派遣職員に来てもらい、体制を強化した成果は出ているか (2) コロナ禍が長期化する中、相談内容に変化はあるか
	25 茅野あんしん認証 EAT について	(1) 茅野あんしん認証 EAT の特徴は何か (2) 6月から始めている巡回の次の展開は考えているか (3) 茅野あんしん認証 EAT の目指すところは何か
小尾一郎	26 被害発生の危惧や不安を生じさせる民地に帰属する擁壁・水路壁に対する市の対応方針について	(1) 擁壁や水路壁の維持管理に関しての法的責任と負担の内容及びそれらの所在について (2) 市内の擁壁や水路壁に関しての安全面での現状について (3) 被害発生の危惧や不安を生じさせる擁壁に対する市の対応方針について (4) 被害発生の危惧や不安を生じさせる水路壁に対する市の対応方針について (5) 市の公共政策として位置付けられるようになる擁壁や水路壁の状態について

広域連合・諏訪中央病院・諏訪南行政事務・ 諏訪広域公立大学事務各組合の勉強会

令和3年5月に各組合議員の構成が代わりましたので、それぞれ勉強会を開催しました。



諏訪広域連合議会

諏訪広域連合は、岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村の諏訪圏域の6市町村で構成し、以下の15項目に関する事務を行っています。

諏訪地域の広域行政の推進。ふるさと振興基金事業。救護施設八ヶ岳寮。病院群輪番制病院運営費補助事業。小児夜間急病センター。基金の運用。介護保険法に基づく事務。障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための市町村審査会。諏訪広域消防。行政不服審査会。ごみ処理広域計画。関係市町村間の人事交流・共同研修・人材育成。行政情報システムの導入と共同化。広域的課題の調査研究。知事の権限に属する事務のうち広域連合が処理するとされた事務。

定数は22名で、茅野市議会からは5名が選出されています。

● 勉強会

7月28日諏訪市文化センターにおいて、諏訪広域連合議会の勉強会が行われました。広域連合で行う仕事は、広域的な事務や市町村が単独で行う事が難しい事務をつかさどっています。コロナ禍で消防本部や小児夜間救急センター及び救護施設八ヶ岳寮の視察は中止になりましたが、担当職員から詳細な説明を受けました。



諏訪広域消防本部とはしご車



救護施設八ヶ岳寮の全景



諏訪中央病院組合議会

諏訪中央病院組合議会は、茅野市、諏訪市、原村の諏訪圏域の2市1村で構成し、(1)諏訪中央病院、(2)介護老人保健施設やすらぎの丘、(3)諏訪中央病院看護専門学校、(4)介護老人福祉施設ふれあいの里の4事業に関する事務を共同処理しています。

議員定数は7名で、茅野市議会からは5名が選出されています。

● 勉強会

新しい議員になった今期、顔ぶれも一新し、議員から中央病院のことをもっと知りたいという強い要望で、諏訪中央病院に関係する個々の施設状況を8月20日に説明を受けました。コロナ禍での現況、病院経営の状況、各施設の現況を理解できたよい機会でした。今後も引き続き各施設の見学などの計画を予定しています。



諏訪南行政事務組合議会

諏訪南行政事務組合は、斎場事業「静香苑」とごみ処理事業「諏訪南清掃センター」「諏訪南リサイクルセンター」「最終処分場」を所管しています。組織は茅野市、諏訪市、富士見町、原村の4市町村で構成されています。

議会定数は、13名で茅野市から5人が選出されています。

● 勉強会と施設視察

7月20日に建設中のリサイクルセンターと清掃センターを視察しました。リサイクルセンターは、造成段階で巨石が出て、処理のため工期は延長され、最終的に9月30日完成、10月1日オープンとなりました。運転開始に向けて工事は順調に進んでいます。清掃センターは稼働から23年施設の老朽化が進んでおり延命化と新施設の整備の検討が課題です。静香苑は火葬件数増加に伴い、待合室のリノベーションを予定しています。



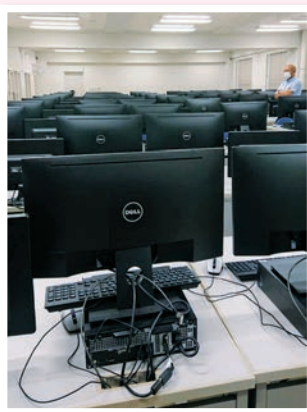
諏訪広域公立大学事務組合議会

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、学生との接触が避けられる日程で、公立諏訪東京理科大学が夏休み中の8月20日議員勉強会が開かれました。

公立化の経緯から始まり、諏訪広域公立大学事務組合と公立諏訪東京理科大との関係、目標、予算、また公立諏訪東京理科大学の概要や組織、新型コロナウイルス感染症への対応の5原則

①コロナに感染しない ②重症化・クラスター化させない ③人権を守る ④退学を防ぐ ⑤授業等を継続する についての説明を受けました。

説明の後に、新築した校舎や改修が行われた校内を視察一巡しました。コロナ禍で一時全講義がリモートとなり、現在も多く行われているリモート講義に対応することに合わせた教室の改修が行われていました。



諏訪圏域6市町村の岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村で構成され、地方独立行政法人法の規定に基づく公立大学法人の設立、同法の規定による設立団体が行うこととされる事項、組合が設立する公立諏訪東京理科大学法人との連絡調整に関する事務を共同処理しています。

議員定数は、20人で茅野市から8人が選出されています。



改修後の教室



新校舎



9月定例会は災害対応のため防災服で出席

編集後記

子どもたちが楽しみにしている行事が中止や縮小となっています。新型コロナウイルスに加え、9月の災害でも不安に思う子どもたちがいました。それでも、感染対策やオンライン化を進める先生方や、災害時の声掛けや復旧を進める地域の方々、子どもを第一に考え行動する大人の姿に安心して過ごすことができているのではないだろうか。子どもたちの笑顔を見ると大人も元氣が出ます。大変なときこそ子どもたちの笑顔を守りたいと感じます。

議会広報部会 木村かほり

● 議会広報部会 ●

- 部会長 望月 克治
- 副部会長 木村かほり
- 部員 伊藤正博、机 博文、伊藤 勝、伊藤正陽、伊藤玲子、野沢明夫

